



ご紹介

「リビング・オンエア」

ミラノデザインウィークの魅力的な展示会が
アトモス・クロックの物語を語る

概要

- **デザインの物語**：4つの章で紹介する90年以上にわたる創造性と職人技の軌跡
- **独創的な技術へのオマージュ**：気温のわずかな変化で48時間の自動巻きを実現する、画期的な時計学のコンセプト「半永久運動」
- **没入型体験**：19種類のアトモス・クロックのコレクションと、アーカイブ資料、技術図面、時計製造の実演

今年4月に開催されるミラノデザインウィークにて、ジャガー・ルクルトは「リビング・オンエア」展を開催し、アトモス・クロックの驚くべき物語をご紹介します。1928年に発明され、気温のわずかな変化によって駆動する独自の機構を備えたアトモス・クロックは、驚異的な機構であると同時に、優れた芸術作品でもあります。魅惑的なそのメカニズムとキャビネットの美しさは、一見魔法のように見えるその作動方法に勝るとも劣りません。

「リビング・オンエア」は、ミラノ歴史地区にあるヴィラ・モーツァルトで2025年4月8日から13日まで開催され、無料で一般公開されます。会期中、ジャガー・ルクルトはミラノデザインウィークの現代的なデザインバリューを反映した新作限定アトモス・クロックを発表します。

アトモス・クロックの物語を4つの章で語る展示会

1833年にジュウ渓谷で創業したジャガー・ルクルトは、100年以上もの間、「ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™」として知られてきました。何世紀にもわたって培われてきたノウハウと革新性を融合させ、過去と未来をつなぐグランメゾンには、そのメカニズムの精度と、高級時計製造にもたらず技術的な創意工夫と審美的な美しさの独創的な融合が特徴的です。

ジャガー・ルクルトは90年以上にわたり、アトモス・クロックの卓越した技術を守り続けてきました。技術的な改良と新たな開発に絶えず取り組み、1970年代からは、一流のデザイナーや芸術工芸の巨匠を次々と招き、この天才的な機械式時計の再解釈を行ってきました。



90 年以上の年月から 19 作品のアトモス・クロックを集めた前例のないコレクションを、アーカイブ資料や技術図面、そして時計職人によるメカニズムの実演を交えて紹介する「リビング・オンエア」は、4 つの章でこの卓越した時計のストーリーを語ります。

THE GENESIS: The (Seemingly) Impossible Dream（誕生：一見不可能な夢）は、少なくとも紀元前 1 世紀のアレクサンドリアまでさかのぼり、永久運動機械のアイデアに魅了された人類の歴史をたどり、1928 年、スイスの放射線技師ジャン＝レオン・ルターが、明確に物理学の法則を無視して、永久運動の原理を時計のプロトタイプに組み込むことに成功した経緯を明らかにします。現在「アトモス 0」として知られるこの時計の初期モデルを購入したジャック＝ダヴィド・ルクルトは、その発明の素晴らしさとは裏腹に、このメカニズムを実用化するには卓越した時計製造技術が必要であることに気づき、ルターをルクルト社（ルクルト & Cie）のマニュファクチュールに招き、商業生産に向けた改良を依頼しました。

第 2 章の **THE MECHANISM: Inside the Atmos**（メカニズム：アトモスの内部）では、他のメカニズムと比べて、アトモス・クロックがどのように永久作動に近づいてきたかをご覧ください。時計を動かすエネルギーは、通常的气温の変動によって供給され、実演では、熱エネルギーが機械エネルギーに変換され、ムーブメントの動力源となる様子をご覧ください。その秘密はガスを密封したカプセルにあります。このカプセルは、膜によって時計の駆動ゼンマイに接続されています。わずかな温度変化によってガスの体積が変化し、膜がアコーディオンの蛇腹のように「呼吸」して膨張・収縮し、ゼンマイを巻き上げます。

THE DESIGN: Atmos as an *Objet d'Art*（デザイン：芸術作品としてのアトモス）では、ジャガー・ルクルトと業界をリードする現代的なデザイナーとのコラボレーションがアトモスを変貌させていく様子に焦点を当てながら、アトモス・クロックを芸術作品へと昇華させた装飾工芸をお祝いします。展示品の中には、著名なデザイナー、マーク・ニューソンとのコラボレーションによる一連のモデルや、木や藁を使ったマルケトリの巨匠が手掛けたアトモスのキャビネットの逸品もあります。

アトモスシステムはわずかなエネルギーしか生み出さないため、ムーブメントの消費は可能な限り少なくなければなりません。**THE COMPLICATION: Beyond Timekeeping**（複雑さ：計時を越えて）、この章では、ジャガー・ルクルトの技術者たちが、エネルギー消費を増加させることなく時計に機能を追加するという課題をどのように解決したかをご覧ください。彼らは、時間計測の原点にある天文現象（月の満ち欠けや季節など）の長くゆっくりとした周期に基づく複雑な機構が理想的であることを発見しました。アトモス史上最も複雑なアトモス・テルリウムも展示されています。この時計は、地球、太陽、月の実際のサイクルを精密に再現する立体モビールであるテルリオンを搭載。対応する月と季節を星座カレンダーで表示し、2412 年まで調整の必要はありません（季節の変化を除く）。



その発明から 90 年が経過した今も、アトモスは特別な地位を守りながら、感情で時を伝える置時計であり続けています。アトモスは、デザインや技術力へのオマージュであり、そのフォルムの美しさ、テンプの静かな動き、機構の神秘性で人々を魅了し続けます。

「リビング・オンエア」は、2025 年 4 月 8 日から 13 日まで、ミラノの Mozart 9 をととしてヴィラ・モーツァルト（1 階）にて、午前 11 時から午後 7 時まで開催されます（ただし 9 日（水）は午前 11 時から午後 6 時まで）。ご来場をご希望の方は、事前にオンライン登録（bit.ly/Atmos-LivingOnAir）、またはご来場時にお申込みいただけます。

ホモ・ファベール・フェローシップ展

「リビング・オンエア」と同時並行で、ジャガー・ルクルトはホモ・ファベール・フェローシップの主要サポートパートナーとして、ミラノデザインウィーク期間中に開催される 2 つ目のイベントに参加します。ミケランジェロ財団主催の「Today's Masters Meet Tomorrow's Talents」（今日の巨匠と、才能あふれる明日のアーティストの出会い）がブレラのカーサ デッリ アルティスティで開催されます。第 2 回目ホモ・ファベール・フェローシップに参加し、さまざまな国から集まった 23 組のデュオ（熟練の職人と新進の才能を持つ「フェロー」のペア）が共同でデザインし、手作りしたオブジェが展示されます。ミラノデザインウィークへの参加は、彼らにとって、自分たちの作品を披露する貴重な機会となっています。



ミラノデザインウィークでの「リビング・オンエア」展の 3D レンダリング



アトモスについて

1928年に誕生したアトモスは、ほかに類を見ない時計です。ジャガー・ルクルト マニュファクチュールの時計職人たちが持つ幅広いノウハウによって実現したアトモスは、物理学の法則を無視したかのように、従来のエネルギー源や巻き戻しを必要とせず何世紀にもわたって動き続けます。実は、この機構は日常的な気温の変化によって駆動しています。2日間分のパワーリザーブを確保するには、摂氏1度の変化があれば十分です。1930年以来、ジャガー・ルクルトは、マニュファクチュールの時計製造技術を活かして、技術的改良を続け、その独創的な才能を活かして、高く評価される芸術作品にまで高めています。アトモスIIのアルデコデザインをベースにしたガラスキューブはすぐに多くの人に知られるクラシックなものとなりましたが、その一方でジャガー・ルクルトは有名デザイナーや熟練した職人たちと共にアトモスのスペシャルエディションを制作してきました。

ホモ・ファベール・フェローシップについて

ミケランジェロ財団が主催し、ジャガー・ルクルトが支援するホモ・ファベール・フェローシップは、熟練の職人や才能あふれる新進気鋭のアーティストを対象とした7か月間の職業的統合プログラムです。第2回目は2024年9月、ヴェネチアの国際芸術大学でエセック・ビジネススクールとパッサ・アオ・フトゥーロが教える1か月間のクリエイティブで起業家的なマスタークラスから始まり、参加したフェローたちは、その後6か月間、ペアを組んだヨーロッパ各地の熟練職人の工房で過ごしました。この期間中、23組のデュオは、ジャガー・ルクルトが選んだテーマであるアルデコにインスピレーションを得た共同作品のデザインとハンドクラフトに挑戦しました。[homofaber.com](https://www.homofaber.com)

ジャガー・ルクルト - ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™

1833年以来、ジャガー・ルクルトは、革新性と創造性への抑えきれない渴望に導かれ、故郷ジュウ渓谷の平穏な自然環境からインスピレーションを得て、複雑機構への熟練した技術とその精度で際立った存在となっています。ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™として知られるマニュファクチュールは、1,400を超えるキャリアの制作と430以上の特許を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。ジャガー・ルクルトの時計職人たちは、190年にわたる蓄積された専門知識を駆使して、最先端の精密なメカニズムの設計、製造、仕上げ、装飾を行い、何世紀にもわたるノウハウと情熱を融合させ、過去と未来をつないでいます。時代を超え、常に時と共にあります。180種類もの専門技術がひとつ屋根の下に集結したマニュファクチュールは、その技巧に、デザインの美しさと独特で控え目な洗練とを組み合わせ、高級時計に息吹を吹き込んでいます。
